

不自由展 補助金詐欺疑惑

一面新聞

令和元年
9月13日(金)

発行者
DAPPI



第100号



不自由展 抗議電話1日200件 中間報告発表後

7. 実行委員会が本件企画展の作品を「隠して出す」と言って、作者に出品を勧誘したのは事実か。

【問7】「Abema TIMES」が配信するインターネット記事によれば、作品「時代の肖像―絶滅危惧種 idiot JAPONICA 円墳―」(直訳:「馬鹿な日本人の墓」)を出展した中垣克久氏(造形作家)は、当該作品を本件企画展に出展した経緯について、

1)「最初、表現の不自由展実行委員会から私(中垣氏)のところに(作品を)出してくれと。ただし、普通には出さない。隠して出す。そう言われた時に、『それはおかしいんじゃないか。堂々と出したらどうか』と言ったら、(実行委員会の方から)『中に慰安婦の像がある。これは今出したら問題だから』と言われた」と記載されているが事実か。

また、2)中垣氏が津田氏(芸術監督)に電話をかけた際、「我々出品者の名前・情報が事前に出ていない。こういうことはあり得ないぞと言ったら、『必ず後で出す』と」の返答があったと書かれているが事実か。

各々、事実の有無について、実行委員会事務局、及び津田大介氏に事実を確認の上、実際の事実関係を明らかにされたい。

出展者が『実行委員会から慰安婦像もあるから作品を隠して出す』と言われたと証言。実行員側は展示の内容を国に正確に報告したら補助金審査が通らないと思い隠蔽したのでは？補助金や公共の看板を詐取するために展示作品を隠してたのであれば補助金詐欺では？

報道回想録

虎ノ門ニュース (2019年10月2日 DHCテレビ) アイヌ利権の実態



元北海道道議会議員の小野寺まさる氏がアイヌ文化交付金が利権となってる
と暴露した。

小野寺氏は利権の1つであるアイヌ舞踏について、アイヌ舞踏は昔と違う踊りで観光用に作られたもので、そもそも集団で踊る文化はなかったと指摘した上で、東京五輪でも1600人が踊るので何億とかかることを問題視した。そしてレーザー彫刻で作成した民芸品をアイヌ文化と認めさせ役所に高額で買わせたり、アイヌの施設に置きレンタル料を貰ってる実態を指摘。またアイヌ協会の60歳過ぎた理事が大学就学資金を貰い、1年で通信学校を辞めたのに12年間貰い続け、1200万貰ってた人が今も理事をやっていると指摘。

そしてアイヌ語の授業を頼まれた講師がいなかったのに金だけなくなったアイヌ語授業が事例は20件以上あったことや、8種類以上あるアイヌ語を1つにしたために昔のアイヌの人が聞くと理解出来ないことも問題視。

このような実態に経済評論家の上念司氏は「アイヌ文化を守るのはいいいが文化はディテール。ディテールをちゃんとやらないのはヘイト。ヘイトで補助金を助長することになる。それを指摘すると『ヘイトだ!』と騒ぐが騒いでる人達こそヘイトをやってる」と怒りを露わにした。

注目のインターネット情報

人の話聞かずに批判を繰り返す小西洋之

Dappi
@dappi2019

小西洋之「今日、自衛隊はブルーシートを張ってない!」

武田大臣「自衛隊の活動は給水・入浴支援も含めて千葉県の実情に基づき行うルールがある」

小「県をサポートしろ!努力しろ!」

武「千葉県の現状を聞きながら頑張ってく」

自衛隊の災害派遣の仕組みが理解出来ずに批判を繰り返す小西

#kokkai



2019年10月1日 (参議院 災害対策委員会)